

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	◎	観光型ホテル（専務取締役）	・1人当たり消費額が9～12月の期間で前年を上回る見込みのため、景気は好調を維持するとみている。
	○	一般小売店〔土産〕（営業部長）	・10月以降は修学旅行シーズンのため、観光客数・売上共に増加が見込まれる。
	○	百貨店（経営担当）	・高単価の冬物衣料やギフト需要の増加が見込まれる。
	○	コンビニ（経営者）	・景気の回復に伴い、客単価の上昇が期待される。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・年末イベントを契機に、景気の回復と販売の活発化が期待される。
	○	その他専門店〔書籍〕（部長）	・知事交代を機に景気が回復するとみている。
	○	一般レストラン（代表者）	・イベントの増加に伴い、来客数の増加を期待している。
	○	通信会社（サービス担当）	・物価上昇への警戒から消費者の様子見姿勢が続き、需要は大きく変動せず、当面は横ばいで推移するとみている。
	○	観光名所（職員）	・気温の低下に伴い、来客数が増加するとみている。
	○	住宅販売会社（営業担当）	・マンションや分譲住宅の販売が好調で、景気拡大が見込まれるなど、先行きは明るい。
	□	商店街（代表者）	・天候不順の影響により、景気動向の判断が難しい状況にある。
	□	一般小売店〔酒〕（店長）	・知事の交代に伴い、経済成長を期待している。
	□	スーパー（企画担当）	・家計の節約志向が続く一方、年末年始の需要が下支えし、景気は大きく崩れず横ばいで推移するとみている。
	□	スーパー（店舗管理）	・食料品の値上げや酒税改正前の駆け込み需要で9月末の売上は確保できる見込みだが、その反動による消費低迷が懸念され、現状の消費水準の継続は見込みにくい。
	□	コンビニ（店長）	・酒税改定やたばこ値上げなどにより物価高が続く見込みのため、景気は現状の水準で推移するとみている。
	□	コンビニ（経営企画担当）	・全国的な悪天候により、観光客の減少や農作物の不作など、経済への悪影響が懸念される。
	□	衣料品専門店（経営者）	・高温が続く先買い需要が減少していることから、景気は様子見の状況だとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・売上拡大に努める一方、現時点では景気改善の材料は見当たらない。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・景気動向を判断する材料がないため、現状維持が見込まれる。
	□	その他専門店〔陶器〕（製造）	・今後はイベントの増加を予定している。
	□	観光型ホテル（総支配人）	・相次ぐ自然災害による消費マインドの低下を懸念している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・取扱量や売上が増加しても固定費・間接経費の上昇により、収益の伸びは限定的である。
	□	住宅販売会社（役員）	・中古住宅や投資物件の需要は堅調だが、金利上昇で購入姿勢は慎重になっている。新築マンションは人気エリアを中心に好調で、今後2～3か月の景気は横ばいとみている。
	▲	家電量販店（営業担当）	・おきなわ省エネ家電購入応援キャンペーンにより対象商品の売上が伸びた一方、今後は前倒し需要の反動減が見込まれる。
	▲	その他飲食店〔ファーストフード〕（総務部）	・観光客が落ち着く時期に入ったことで、来客数が減少するとみている。
	▲	観光型ホテル（企画担当）	・9月の販売室数が前年比0.4%減少に対し、9月末時点での12月の予約室数は前年比11%減少で、マイナス幅が大きくなっている。
	▲	通信会社（営業担当）	・景気改善の材料が乏しく、最低賃金引上げによる販管費増加も懸念される。また、低所得層の賃金は一部改善するものの、中間層への波及は限定的とみている。
	▲	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・受注状況は前年並みで推移しているものの、各地での自然災害発生による旅行控えが起これば、今後の受注に悪影響を及ぼすとみている。

	×	その他飲食店〔バー〕 （経営者）	・物価高が続いており、景気改善につながる要素が見当たらない。
企業 動向 関連 （沖縄）	◎	—	—
	○	窯業土石業（取締役）	・年内は複数の受注案件の施工が続き、製造を含め繁忙期となるため、売上の増加を期待している。
	○	輸送業（総務経理担当）	・運賃交渉を継続して進めており、徐々に成果が表れている。
	○	広告代理店（ストラテ ジックプランニング部）	・首里城正殿の完成に向けた動きが活発化し、観光業界への波及効果 を期待している。
	□	食料品製造業（総務部）	・景気は足踏みと改善を繰り返しながら徐々に上向いているもの の、今後3か月はやや足踏み状態が続くとみている。
	□	建設業（経営者）	・中東情勢の影響は不透明だが、現時点では景気は大きく悪化しな いとみている。
	□	輸送業（経営企画部）	・外国人ドライバーの採用で人材確保は進んでいるものの、人件費 や各種コストの上昇が続くため、景況感の大幅な改善は見込みにく い。
	□	通信業（総務）	・秋の観光シーズンやイベントによる需要拡大が期待される一方、 物価高や人件費増加の影響が続いている。
	▲	会計事務所（所長）	・金利上昇は業種を問わず、事業者の経営に悪影響を及ぼす可能性 が高いとみている。
	×	*	*
雇用 関連 （沖縄）	◎	—	—
	○	学校〔専門学校〕（就職 担当）	・2028年3月卒業予定者向け求人の増加で改善が見込まれる一方、 A I 普及の影響による先行きは楽観視できない。特にI T企業では A I 活用を前提とした人材育成が急務となっている。
	□	人材派遣会社（総務担 当）	・物価上昇や最低賃金引上げを背景に、派遣料金の改定交渉やス タッフの待遇改善、同一労働同一賃金への対応が重要な経営課題と なっている。
	□	学校〔大学〕（就職支援 担当）	・今後の景気は小幅な変動を繰り返して推移するとみられるが、賃 金引上げにより物価とのバランスが徐々に改善することを期待して いる。
	▲	求人情報誌製作会社（審 査）	・物価高や12月の賃上げによるコスト増加を背景に、企業の求人抑 制が懸念される。
	×	—	—